

基本情報

施設名	岡村幼稚園
所在地	横浜市磯子区岡村 2-13-11
電話番号	045-751-2008
評価年度	平成 29 年度
評価機関	株式会社 R-CORPORATION

評価方法

自己評価	
(実施期間) 平成 29 年 11 月 16 日～ 平成 30 年 2 月 20 日	まず個人で評価、次にクラス単位で評価した後、主任および事務で再評価。園長をまじえ最終評価。
評価調査員による評価	
(実施期間) 平成 30 年 3 月 15 日 平成 30 年 3 月 16 日	評価調査者 2 名が、2 日間を通し、保育園内の視察、保育内容、園児の観察、書類確認および園長、職員との面接、ヒアリングにより評価を行いました。乳児、幼児の食事の観察を行い、保育環境、子どもの遊びの様子、延長保育の観察を実施しました。
利用者家族アンケート	
(実施期間) 平成 30 年 1 月 29 日～ 平成 30 年 2 月 14 日	保護者へアンケート用紙を配付し、回収ボックスに入れてもらった。
利用者本人調査	
(実施期間) 平成 30 年 3 月 15 日 平成 30 年 3 月 16 日	1 歳～5 歳児対象に 1 日の生活を通して観察を行い、園生活、食事、遊び等を場面観察から考察をまとめた。

第三者評価結果報告書

《総括》	
対象事業所名	岡村幼稚園
経営主体(法人等)	社会福祉法人 梅の香り
対象サービス	保育所
事業所住所等	〒235-0021 横浜市磯子区岡村 2-13-11
設立年月日	昭和 25 年 4 月創立 平成 28 年 4 月 1 日法人化
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION
評価項目	横浜市版

《総合評価》

●岡村幼稚園の立地・概要

・岡村幼稚園は、JR京浜東北線、市営地下鉄、京浜急行を利用し、市営バスで「天神前」下車して5分、「岡村天満宮」の境内の中に岡村幼稚園があります。岡村公園に隣接した岡村天満宮は、京都北野天満宮の分霊を源頼朝の家臣が祭ったことが始まりだと伝えられ、境内には「撫でれば患部の苦痛が除かれる」という石の牛像を始め、筆塚、針塚があり、稲荷社、本殿、神楽殿が色鮮やかに建立し、神社ゆかりの「西瓜天神」の横浜人形や絵馬も特色です。春には広い境内に立派な梅・桜が咲き乱れ、岡村幼稚園は「岡村の天神さま」に見守られた創業68年の歴史ある保育園です。

・岡村幼稚園は、昭和25年4月1日に岡村天満宮旧社務所を園舎に改造して開園し、昭和25年9月1日に定員30名の保育園として神奈川県知事の認可を受けて以来、昭和26年に園舎を増築して定員41名で認可を受け、以降、昭和32年～昭和42年の10年間で園舎を新築し定員も120名となり、さらに根岸湾岸埋め立て臨海工業地の背後地として人口急増に伴う地域要請に応じて園舎を増築し、昭和47年4月1日には定員148名となり、平成10年までに増築、改造、一部新築を行い、建物面積延べ470㎡の園舎として現在の園体制に至っています。

●岡村幼稚園の理念・方針

・岡村幼稚園の理念は「広々とした緑豊かな環境の中、子どもたちが心を開いて安心して時間を過ごし、のびのびと明るく成長して行くように保育することを基本とする。それぞれの子どもの個性を尊重しながらも、年齢に応じた躰が身につくように、また他者に対する思いやりの心を持ち、自分自身を含めた一人ひとりが、かけがえのない大切な存在であることを感じられるよう育む。子どもたちが、日々安定した生活リズムを保てるように、保護者と園が連携を密にし、家庭での生活と園生活がスムーズにつながるように努める。他者に対する感謝の気持ちや、四季折々の自然の恵みにも感謝の気持ちを言葉で表せるように、ありがとう、ごめんなさい等、きちんと挨拶のできる子になってほしいと願う。」と謳い、基本方針は、「広々とした緑豊かな環境の中で、

子どもらしく明るく伸び伸びとした保育を目指して行きます。」「四季を感じながら元気に遊び、様々な経験を通して子どもたちの心身を育みます。」「卒園までにひらがなの読み書きができるよう指導していきます。」「絵画は線画、クレパス、水彩、版画などに取り組み、音楽は打楽器、ピアノ、合唱を専門の講師により指導を受けるなど幼児期における情操教育に力を入れています。」を掲げています。保育目標は、保育課程に年齢別に1歳児～6歳児までの「ねらい」を明示し、「年間目標」に年齢別の年間を通して取り組む目標と「子どもの姿」そして「ねらい」を記し、生命・情緒・健康・人間関係・環境・言葉・表現の7領域に亘って取り組み内容を定めています。さらに「月案」「日案」に落とし込んで保育を展開し、理念・基本方針に沿った保育活動を実践しています。

《優れている点》

1. 遊びこめる環境作りの推進

●子どもたちが遊びこめる環境作りとして、園の主体経営が社会法人「梅の香」で岡村天満宮とは同体の関係から園庭が天満宮の境内でもあり、周辺が梅の木や桜の木その他、種々樹々に囲まれた自然豊かな環境の中に、固定遊具も豊富に揃った園庭で子どもが遊び込める環境を整えています。園内では各保育室に子どもの背丈に合わせたカウンターを設け、年齢に合わせた抱き人形・ママゴト遊び・ブロック・パズル・絵本等を揃え、子どもたちはごっこ遊びから互いを思い遣り、遊びを楽しめるよう環境を整えています。子どもが好む環境作りでは、子ども本位とした職員の配慮の下、遊び込める場所を設定し、子どもが作りかけのブロックの作品等も保管して継続的に遊べるよう支援体制も整えています。

2. 子どもの自立に向けた環境作り

●園庭にはピカチュウの形をした滑り台や鉄棒の他、砂場があり、稲荷社の横にも滑り台が2基設置され、ブランコもあり、砂場ではケーキ屋さんを見立てた砂遊びや、ボール蹴り、三輪車での競争、縄跳び等、子どもが思い思いの遊具を持ち出して主体的にのびのびと遊んでいます。また、滑り台やジャングルジム、かけっこ等、活発に遊ぶ中、保育士も遊びに交わりながら絶え間なく子ども一人一人に目を配り、全ての子どもが子どもらしく楽しめるよう配慮しています。遊び終えた後は、子どもたちは自主的にそれぞれに使っていた遊び道具を収納庫の所定の場所に戻し、「使ったものはキッチンと片づける」マナーが自然と身に付いており、自立に向けた保育支援が行われています。

3. 理念に沿った子どもの育成への取り組み

●理念に沿った保育の中で特に注力しているのが、「子ども一人ひとりが安心して過ごせる温かみのある保育」、「基本的な躰と挨拶を身に付ける」、「保護者が安心して子どもを預けられる」であり、子どもの「今」を見つめて人間形成の基礎作りの育成に努めています。岡村幼稚園では毎朝、朝の会を行い、園庭に全員が出て年齢別に整列をし、「朝の会」の体系を整えます。1歳児も保育士と手をつないで整列します。次に園長の参拝に倣い全園児と保育士が2礼2拍手1礼の参拝を行い、子どもたちは手をしっかり伸ばして拍手を打ち、腰をしっかり折って礼拝を

行い、決して信仰の強制ではなく自然の神への敬いで心を引き締められ、姿勢も正されています。後のラジオ体操でも子ども全員がきびきびとした清々しい動きです。園での「朝の会」は、物事の節目を正した行いであり、行動が「きちんとした」人の生活となり、その結果、人として守られるべき「決まり」を守ることができ、「挨拶ができる人」が育つ、とした園理念に沿った保育が行われています。

《さらなる期待がされる点》

1. 園の環境を活かした「さらなる地域支援」に向けて


●現在、地域のニーズに応じた子育て支援サービスの取り組みが十分でないところがあります。しかし、園の立地条件が昔から広く地域に親しまれてきた「岡村天満宮」の境内が園庭でもあることから地域の方との交流は、天満宮の自然に恵まれた環境と境内に設置された多くの固定遊具の他、小鳥も飼育し、幼い子どもの遊びには事欠かない条件が揃っており、日々参詣で訪れる方や小さい子ども連れで遊びに来る親子も多く、岡村天満宮を通して自然に交流が行われています。こうした機会を活かし、園見学、子育て相談をポスターの製作等で地域に広く告知を行い、理念に基づいた子どもの育成と、保育の専門知識を活かした子育て支援の取り組みが望まれます。地域の中にある幼児園として、子育て世代、高齢世代のあらゆる地域の人たちの指示を受ける幼児園構築に期待いたしております。


横浜市福祉サービス第三者評価結果



岡村幼稚園	
評価年度	29 年度
評価機関	株式会社 R-CORPORATION


領域Ⅰ 利用者本人(子ども本人)の尊重 領域Ⅱ サービスの実施内容 領域Ⅲ 地域支援機能 領域Ⅳ 開かれた運営 領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上 領域Ⅵ 経営管理


評価領域Ⅰ 利用者本人(子ども本人)の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<p>●岡村幼稚園の理念は、①「広々とした豊かな環境の中、子どもたちが心を開いて安心して時間を過ごし、のびのびと明るく成長していくよう保育することを基本とする。」、②「それぞれの子どもの個性を尊重しながらも、年齢に応じた躰が身に付くように、また他者に対する思いやりの心を持ち、自分自身を含めた一人ひとりが、かけがえのない大切な存在であることを感じながら育む。」③「子どもたちが日々安定した生活リズムを保てるように、保護者と園が連携を密にし、家庭での生活と、園生活がスムーズにつながるよう努める。」、④「他者に対する感謝の気持ちや、四季折々の自然の恵みにも感謝の気持ちを言葉で表せるように、ありがとう、ごめんなさい等きちんと挨拶のできる人になってほしいと願う。」と謳っています。理念に沿い、基本方針は、1.「広々とした豊かな環境の中、子どもらしく、明るくのびのびとした保育を目指していきます。」、2.「四季を感じながら、元気で遊び、様々な経験を通して子どもたちの心身を育みます。」、3.「卒園期までに、ひらがなの読み書きができるよう指導していきます。絵画は線画、クレパス、水彩、版画などに取り組み、音楽は打楽器、ピアノ、合唱を専門の講師により指導を受けるなど幼児期における情操教育に力を入れています。」と掲げています。理念・基本方針が常に目に触れるよう、園内・職員室に掲示して意識を高めています。また、パート職員</p>


	<p>を含む全職員で共通認識を図り、保育活動に生かしています。</p> <p>●保育課程は、1歳～5歳児まで年齢を区分けし、教育5領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）について「ねらい」と、取り組み「内容」に分類して子どもの最善の利益を第一にして設定しています。年間指導計画は、保育課程に基づいて年齢ごとに1期（1～6月）、2期（7～9月）、3期（10～12月）、4期（1～3月）の期ごとに区分して子どもの姿、ねらい、内容（生命・情緒・健康・人間会計・環境・言葉・表現）と援助、環境構成、食育の区分ごとに取り組み内容を策定して指導計画としています。月間指導計画は、1歳児～2歳児は個別に計画を立て、3歳児～5歳児は月間のねらいと共に養護、教育に分類した取り組み内容を定め、保育士の援助等も示した指導計画を策定されています。月間計画に基づき、年齢別の1日の時間ごとの取り組みを生活のプログラムとして「保育形態」と「活動内容」に設定し、理解のできる子どもには必要なことをきちんと説明し、意見も吸い上げ、日案として計画に取り入れ、日々の保育活動を実施しています。</p> <p>●保護者への説明は、入園時や各期の当初に説明を行っています。改定した場合は都度、説明を行い、周知しています。</p>
<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<p>●入園前に説明会を開催し、子ども同伴で入園に向けて面接を行い、保護者と面接中に子どもの様子を観察しています。保護者には事前に子どもの成育歴や家庭状況等を所定用紙に記入してもらい、面接時の聴き取りと合わせて個人別ファイルにし、ファイルは施錠付き書棚に保管しています。必要に応じて職員が閲覧できるようにしています。</p> <p>●新入園児受け入れに際しては、短縮保育（慣らし保育）を実施し、期間は子どもの状況と保護者の就労状況等に合わせて考慮して行い、不安等の軽減に配慮しています。1歳児の新入園児受け入れに対しは主担当保育者を決めています。</p> <p>●在園児への配慮対応としては、2歳児には主担当を決めて子どもが安心できるよう配慮しています。子ども個々の記録は連絡帳に諸事項を記入して保護者と連携を図り、進</p>

	<p>級して1か月間は登園時に会話を密にし、意思疎通を図っています。3歳児クラスでは複数の担任の内、一人は持ち上がりとして、さらに職員を1名加配して子どもの安心・安定につなげています。</p> <p>●個別指導計画の作成および、評価・改定については、1歳、2歳児は毎月個別指導計画書を作成しています。評価、改定では、クラス会議・乳児会議・保育会議で意見交換を図り、強化の見直しを行っています。保護者の意向等については、連絡帳、クラス懇談会、日常会話等から意見や要望を聞き、指導計画に反映するよう努めています。改定については、園だよりで周知しています。</p>
<p>I-3 快適な施設環境の確保</p> 	<p>●施設環境については、園内外の清掃については「清掃表」を作成し、園長と職員で分担を決め、交代で朝・夕実施し、清掃チェックリストで管理して常に清潔を確保しています。</p> <p>●乳児用トイレには臭気除去剤と共に定期的に換気に配慮し、湿度・温度管理は各クラスに湿度・温度計測器と空気清浄機を設置し、自動換気その他、子どもの様子を見ながら窓を開けて自然の風を取り入れ体感管理もしています。保育室は採光が十分入り、午睡時にはカーテンで調整しています。音量管理については音楽や職員の声が他のクラスの妨げとならないよう注意し、子どもが聞き取りやすい環境作りをしています。</p> <p>●沐浴設備はありませんが、乳児用トイレ内に温水シャワーを設備し、適宜身体の清潔に配慮しています。清掃、消毒は衛生管理マニュアルに沿って定期的に行い、実施チェック記録表にも記入にて管理しています。</p>
<p>I-4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p> 	<p>●1歳～2歳児については月間個別指導計画を策定し、個別の目標計画については、一人一人の子ども状況に合わせた保育目標を設定しています。特別な配慮を必要とする子どもについても個別指導計画を策定しています。内容的には「予想される子どもの姿」を基に、「ねらい」・取り組み「内容」として具体的に記しています。様々に想定される場面に応じて係わり方、支援について記した計画を策定し、担任間で共有を図り、各クラスの個別指導計画の確認と共に、定期的に見直しています。また、毎日のミーティ</p>

	<p>ングや保育会議で子ども一人一人の成長と計画を対比して振り返りを行い、個々の発達状況に合った計画に修正しています。保護者に対しては、連絡帳や面談で説明を行い、トイレトレーニングや歯磨き、箸等の進め方について連携しながら進めています。</p> <p>●子どもの記録は、所定の書式にて保育所児童保育要領に従った就学に向けての取り組み内容等を記録し、児童が入学する小学校に送付しています。子どもの成育歴、家庭の状況や保護者の要望などが記された（児童表・健康台帳・個人票・成長発達記録・経過記録）等のファイルは職員室の施錠付き書棚に保管し、必要に応じて閲覧ができるようにしています。進級時には重要申し送り事項が記録された個別ファイルを基に、次年度の担当職員に引き継ぎをしています。担当職員は引継ぎノートに記載された内容を基にして新年度の子ども、保護者への対応に生かしています。</p>
<p>I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<p>●特に配慮を要する子どもの受け入れについては、子どもの様子をうかがいながら判断して受け入れ、個別カリキュラムを作成して毎日のミーティングで話し合い、全職員で情報を共有して対応できるようにしています。職員は、外部研修、書籍情報等から知識を得、園内研修を行って知識を深め、研鑽を図っています。また、南部地域療育センターの巡回指導時に相談・助言を受け、保育に生かしています。</p> <p>●障害児保育のための配慮・環境整備では、園入り口に車いす対応のスロープ導入路を設け、園内は全面的にバリアフリーであり、車椅子対応のトイレも設備して整備されています。障害の特性に考慮した個別指導計画を立案し、全職員で障害児保育について学習を行い、南部地域療育センターの巡回指導を受けて障害児対応への体制を整えています。</p> <p>●虐待については、虐待に関する定義を全職員に周知し、登園時には子ども、保護者の様子を観察するよう早期発見に努めています。虐待が疑われる場合は、主任・園長に報告し、対応体制を整え、虐待が明白になった場合は、全職員に周知徹底を図り、行政関係機関と連絡体制を整備しています。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ●アレルギー疾患の対応では、かかりつけ医による指示書に基づき除去食対応が行われています。除去食は個別管理でラップを施し、アレルギー内容と氏名を記載し、誤食防止を徹底し、厨房と担当職員で確認を行い、保育室では別に管理して提供しています。 ●文化が異なる外国籍の子どもへの対応は、生活習慣、考え方の違いがあることを入園児の説明時に保護者に話して説明をしています。言語、表現、食事等について絵・写真・実物等で対応方法を工夫し、場合によってはボランティアの通訳を依頼する等、準備しています。子どもたちには絵本等で世界中には色々な人が仲良く生活していることを教え、理解を促しています。
<p>I-6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●保護者からの苦情などに関しては、入園時に入園のしおり「人と人話し合いでよい関係と安心を」に、日常の気になる事や改善して欲しいこと等、気軽にクラス担任に相談して下さいと記載し、希望が伝わらない場合には第三者委員会に相談して下さいと明示しています。また、苦情責任者・解決委員・受付委員・第三者委員の氏名を知らせ、第三者委員を定め、対応する仕組みを整えています。その他、保護者が意見を述べられる機会として、個人面談や、園行事後（運動会・保育参観など）にアンケートを実施して意見・要望等を聞いています。 ●苦情・要望を受けた場合は、速やかに職員会議で解決策を検討し、対応する体制を整えています。過去の苦情やトラブル等の検討および対処の結果は記録し、所定のファイルに保存して再発防止に生かしています。

評価領域 II 保育の実施内容

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>II-1 保育内容 [遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもが好きな玩具や絵本を取り出せるよう、子どもの背丈に合わせた棚を設定し、自由に取り出して遊べるようにしています。玩具は、抱き人形や食べ物の形をした玩具、ごっこ遊び用のハウスや調理台、テーブル等を揃え、三角形や正方形をしたブロック、電車・レール、ミニカー等、年齢に応じた玩具を取り揃え、子どもの豊かな発想を展開


できるようにしています。


●遊びを集中できるよう、テーブルでコーナー作りを行い、子どもたちはコーナーで絵本を読んだり、パズルに集中して遊んでいます。ブロック遊びではいろいろなパーツを用いて創造し、子どもは保育士に「壊さないでこのまま取って置くの」と、創りかけの作品の保管を頼んでいます。作りかけのブロックの置く場所を設け、子どもが継続して製作に取り掛かかれるように配慮しています。



●一斉活動として園では、自由遊びを中心にカリキュラムを組み立て、園庭や保育室それぞれが好みの道具を持ち出して遊んでいます。年齢ごとに集団活動も取り入れ、マットを用いた体操を実施し、リズム遊び、童謡、製作、お絵かき等も計画に組み入れ、一緒に行うことの楽しさやルールを守ることの大切さを教えています。


●栽培や飼育については、園庭の畑で季節野菜の栽培活動を行い、種や苗から栽培し、水やりをしながら成長を観察し、きゅうり、ナス、ピーマン、ゴーヤ等を育てて収穫しています。採れた野菜は実際に触ってキュウリのトゲや新鮮な野菜の匂いを知る等、給食時には収穫した野菜を提供し、食育につなげています。また、神社の境内にはミカン、レモン、ザクロ等の果実をつける木々も多く植栽され、子どもたちは収穫された自然を味わっています。飼育については、園庭に多くの色とりどりのセキセイインコを飼育し、自然に囲まれた園庭でバッタやカマキリ、カブト虫、セミ等に親しみ、観察し、一時的に飼育を行う等、興味や愛情を育み、命の大切さを伝えています。

●園外活動では、園庭や近隣の梅林公園、岡村公園等に出かけて体を動かして遊び、自然に触れる機会を設けています。園庭では駆けっこや三輪車競争、ボール蹴り、砂遊び、縄跳び、固定遊具のブランコ、ジャングルジム、滑り台、鉄棒等で元気良く遊び、保育士は目配りしながら安全を確保しています。子どもたちは遊びを創造し、子ども同士でルールも決めて楽しく遊んでいます。異年齢児交流では、年長児がルールや順番を年下の子どもに教えたり、労う等、年長児への憧れを募らせ、年少児はお兄さんやお姉さんの言うことを懸命に聞き、良い関係作りができていま

	<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子ども同士のケンカについては、年齢に応じた対応に努め、保育士は危険のないよう見守りながら、互いの言い分に耳を傾け、気持ちを代弁しながら自分の立場に置き換えて理解を促し、譲り労わり合えるよう、年齢に応じた援助を行っています。子ども同士のケンカについては、主任・園長へ報告し、必要に応じて保護者に伝えていきます。 ●健康増進については、園庭遊びに加え、散歩も積極的に取り入れ、散歩先に園の裏側にある高台に大きなテニスコートや競技場と共にある自然に恵まれた公園に行き、公園までの道のりも階段や石畳の坂道もあり、子どもの体力作りを促進し、公園では走ったり、いろんなゲームを楽しみ、屋内においてもマット、跳び箱等、体操のプログラムにより健康増進を図っています。また、健康では、その日の登園の健康状態を把握し、既往歴に配慮して遊びを選択する等、配慮しています。プール遊び時は健康管理上の時間割り管理を行っています。
<p>Ⅱ－１ 保育内容 [生活]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●食事については、1歳、2歳児は完全給食ですが、3歳児以上は副食給食とし、主食としてパンまたはご飯を家庭から持参しています。また、献立で麺類の場合も主食を持参するようにしています。給食時の盛り付けは、子どもの自己申告とし、完食の喜びを味わえるよう盛り付けを配慮し、お代わりでは食べられる量だけにするよう自己管理ができるようにしています。 ●偏食については、決して無理強いせず、自分たちで栽培収穫した野菜を食することで興味を持ち苦手意識の克服につながっています。また、季節に合わせた料理（七夕時にはオクラで作ったお星さま、節分には豆まき用の大豆、カボチャ餡の鬼饅頭等）を工夫して提供し、食への関心と楽しさを味わい、偏食対策の一助にしています。 ●給食とマナーでは、当番のリーダーが食事前に「母への感謝と食することができることと、食物への感謝」を唱和して「いただきます」と手を合わせてから食事をを行い、食事中は「箸の振り回し」は他児に迷惑がかかることを教えています。3歳児から当番制を採り入れ、食事の挨拶をリーダーが発声し、配膳、給食室への返却を子どもたちで行

	<p>い、食事の一連を学んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●食器は、1歳～2歳児はメラミン製を採用し、食具や器は月齢に応じて多種を揃えています。3歳児以上は陶器製の食器を採用し、丁寧に扱うことを教え、箸については3歳児から使い始め、手の大きさに合わせた箸を用意しています。 ●献立は園独自に作成し、栄養士が調理担当者と相談しながら献立表を立案し、給食会議で献立や調理方法について職員と話し合い、検討結果を献立、調理方法等に反映させています。献立表は、保護者へ事前に配付しています。子どもに好評な人気メニューは今後ホームページに掲載する予定にしています。 ●午睡については、落ち着いて眠れるよう工夫し、室内の採光に配慮して心地良く眠れるよう環境を整えています。園では、寝具はウレタン製マットを並べ、ベビー毛布を使用し、保育士が間に座って見守りを行い、うつ伏せ寝防止を行っています。家庭の状況や子どもの体力、生活リズムを大切にしながら、4歳～5歳児は就学に向けて9月以降は午睡をなくすようにして手遊びや読み聞かせ、紙芝居を見たりして過ごしています。 ●排泄については、個人差がある事を尊重して保護者と密に連携しながら、子どものリズムに合わせて進めています。スタート時を決めて保護者にも伝え、状況を知らせながら成功を共に喜び合っています。失敗もありますが焦らず、優しく子どもに接し、自尊心を損ねる事のないよう配慮し、職員間で共有して行っています。
<p>II-2 [健康管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●健康管理はマニュアルに沿い、個人別の健康台帳により子ども一人一人を把握しています。既往症については、入園時の健康記録を基に継続して確認しています。変化がみられた場合は、ミーティングや引継ぎノートにて職員間で共有を図り、主任、園長に報告しています。歯磨きは、3歳児から食後の歯磨き指導を行い、虫歯予防に取り組んでいます。 ●定期的に健康診断（年2回）、歯科検診（年1回）、視聴覚検査（4歳児年1回）、尿検査（3歳～5歳児年1回）を実施し、結果は健康記録ノートに記録し、歯科検診の結果



	<p>は歯科検診表に記録して保護者に知らせています。必要に応じて口頭でも連絡を行い、嘱託医から助言を得て、伝えています。情報は会議等で共有し、家庭と連携を図り、子どもの健康に配慮しています。</p> <p>●感染症等については、対応マニュアルを備え、感染症登園停止基準、感染症の疑いが生じた場合の対応について、入園のしおりに示し、入園説明時に保護者へ説明しています。感染症が発症した場合は、園内感染拡散の防止を第一に注意喚起を図り、保護者にも周知しています。保育中に発症した場合は、速やかに保護者に連絡し、職員室に子どもを隔離し、お迎えを依頼しています。入り口には「入室禁止札」を掲げ、感染症蔓延に注意しています。地域や最新の感染症情報は、区役所等から入手し、情報は職員間で共有を図り、対応策の周知徹底をしています。保護者に対しては、園入り口に貼り出して周知しています。</p>
<p>II-2 [衛生管理]</p> 	<p>●衛生管理マニュアルは、給食室に関する衛生管理マニュアルを整備し、全職員に周知しています。必要に応じて見直しも行い、マニュアルに沿って園内研修を実施しています。毎朝、園庭、玄関、トイレ、園庭にある固定遊具の滑り台等も含め、登園して来た職員が順次自発的に清掃を行っています。保育室内は午睡後を含め1日に3回、喚起と共に掃除を実施し、清潔を確保しています。</p>
<p>II-2 [安全管理]</p> 	<p>●安全管理では、事故や災害に対するマニュアルを整備し、全職員に周知しています。緊急連絡体制では個人別の連絡リストを作成し、一斉通知も電話、メールでの連絡体制を整えています。年間の防災・避難訓練を策定し、毎月防災訓練を行い、指定避難場所の確認も行っています。園にはAEDの設置を行い、職員は業者による取扱い研修を受け、緊急時に備えています。</p> <p>●子どもの事故やケガについては、マニュアルを備え、保護者や救急機関への連絡体制を整備し、マニュアルに沿って緊急対応ができるよう手順を示しています。保育中に発生した場合はクラス担任が迅速に園長へ報告を行い、保護者にも速やかに連絡を行い、軽傷でも必ず保護者へ発生状況と処置を含めて伝えています。事故、ケガが発生した場合はヒヤリハットや事故報告書に記録し、職員会議等で周</p>

	<p>知を図り、再発防止に努めています。また、通院が必要なケガ、事故の場合は「事故報告書」に詳細に記録し、医師の指示について誤伝達のないよう記録して対応しています。</p> <p>●外部からの侵入に対しては、防犯カメラの設置で不審者対策を講じていますが、境内に園舎があるため、参拝者など一般の方との交わりは日常的に発生しています。園舎の防犯対策に関しては、導入スロープに沿ってフェンスを設け、門には施錠を施し、園舎各棟入り口には施錠を行い、安全を確保しています。不審者等に対する緊急通報体制を整え、区役所、磯子警察署、近隣保育園等と連携を図っています。不審者情報は、磯子区、警察から FAX で入手し、情報等はクラスノートやメール配信で保護者にも伝えていきます。</p>
<p>II-3 人権の尊重</p> 	<p>●人権の尊重は、保育、保育士の基本と心得、職員は、子どもに対して威圧的な言葉遣い、強制、自尊心を傷つけるような保育は行っていないかを職員会議時に振り返りを行っています。職員は、理念である「一人ひとりの個性を尊重しながら年齢に応じた躰を身につけ、他者を思い遣る心を持ち一人ひとりがかげがえのない大切な存在であることを感じれるよう育む」に沿って保育を実践しています。また、穏やかな話しかけで「子どもが自らやりたいくなる」のを「待つ」保育を心がけ、子どもの人格を尊重するよう全職員で共通認識を図っています。</p> <p>●他人の視線を意識せず過ごせる場所として、保育室の片隅や廊下の場所を選択し、保育士等の視線を感じないように配慮しています。子どもと1対1で話す場合は、2階の会議室等、落ち着いた空間で話すよう工夫し、威圧感を与えないように配慮しています。</p> <p>●個人情報の取り扱いや守秘義務については、入社時に個人情報の目的、取り扱いについて説明し、周知しています。保護者には、入園時に入園のしおりで個人情報の取り扱いについて説明し、肖像権について同意を得ています。個人情報が記されたファイルは施錠付き書類ロッカーに保管し、職員の必要時には閲覧できるよう管理しています。</p>

	<p>●性差に関する配慮では、遊びや行事の役割、持ち物や服装での区別、順番、グループ分けや整列も性別で区別することはせず、父親・母親の役割を固定的に捉えた話し方や表現はしていません。行事の発表会時では遊戯において女踊り、男踊りはありますが、性差を意識付けるものでないことを職員、保護者の理解を得ています。</p>
<p>II-4 保護者との交流・連携</p> 	<p>●理念、基本方針、保育方針はホームページ、保護者との全体会議や懇談会時に説明しています。また、園だよりや連絡帳等でも方針の理解を促しています。保護者には園独自のアンケートを実施し、保育方針が理解されているかの確認を行い、日々理念に基づいた保育の実践に努めています。</p> <p>●園生活での様子や活動内容は、1歳～2歳児は連絡ノートを活用して密に連携を図り、その日の子どもの様子は降園時にも口頭で伝えています。3歳～5歳児はクラスノートに日々の様子を記載し、保護者が閲覧できるようにし、口頭でも様子を伝え、家庭での様子や質問も聞くようにしています。また、園生活に関する情報は、園だよりやクラスだよりを発行し、ホームページからも発信しています。保護者との連絡、伝達事項は、職員間で情報を共有しています。</p> <p>●保護者の保育参加・参観については、年間行事予定表を配付し、保護者が予定を立てやすいように配慮しています。保育参観後は、保護者懇談会を実施しています。</p> <p>●個人面談は、保護者の希望に沿って随時受け付け、個人面談に際しては、適切な対応ができるよう複数の職員で対応しています。保護者の相談については、場所の設定に配慮し、プライバシーの確保を心がけています。受けた相談は記録に残し、園長の判断を仰ぎ、迅速な対応と継続的フォローにも心がけています。</p> <p>●保護者の自主的組織については、「後援会」があり、保護者が会費を集め、規約を設け、決算報告も行き、全保護者が加入しています。活動内容は保護者の親睦を主とした活動が行われ、「謝恩会」を始め、各種園行事（七夕まつり、ゆかた踊り、運動会、餅つき大会等）に保護者のサポートを受けています。後援会の運営会場として園の会議室</p>


	を提供し、要請を受けて園長はじめ職員が参加し、密にコミュニケーションを図り、良好な相互協力体制を構築しています。
--	--

評価領域 III 地域支援機能評価領域

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>III-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域住民との交流では、地域自治会から自然環境美化の一環として岡村公園に花を植える相談を受け（園は岡村天満宮と一体であり地域の方々にとっては神社境内の公園の認識）、地域の方と一体になって取り組んでいます。地域の子育て支援の取り組みでは、園見学等の際に子育て保育に関する相談等があれば受け、専門の立場でアドバイスできることを伝えています。地域住民に向けた子育てに関する講習、研修会については、現状、実施していませんが、今後の取り組みとして望まれます。 ●一時保育は現在行っていません。 ●交流保育は、近隣保育園と5歳児を中心に就学を見据えて交流を行っています。
<p>III-2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域住民に対する園の情報提供では、磯子区の子育て情報サイト（いそピヨ）、広報よこはま磯子区版等に掲載して情報提供しています。また、園行事（七夕まつり、ゆかた踊り、運動会、餅つき大会等）を地域の掲示板で案内し、地域の方々に参加を促し、園の理解につなげています。育児相談は園利用の際に子育て保育に関する相談の申し込みを受け付けています。今後、地域の子育て親子に向けた定期的な育児相談の実施が期待されます。 ●関係機関・団体等の連絡先リストを備え、職員で共有できるようにしています。関係機関（磯子区こども家庭支援課・児童相談所・病院・横浜市南部地域療育センター等）とは連携を図り、連絡担当は、園長、総務担当が行い、相談・助言を得られる関係を築いています。


評価領域 IV 開かれた運営

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>IV-1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<p>●地域への園の理解促進のための取り組みとしては、園の行事の開催では、地域に根付いた岡村天満宮の境内であり、地域の多くの方々に親しまれている関係から園行事には多くの地域の方々の参加を得ています。地域自治体や関係団体との交流では、地域の小学生、中学生の職業体験を受け入れ、近隣の小学校では運動会で卒園予定児のプログラムに招待を受けて交流を持っています。また、中学生の吹奏楽演奏やフラダンスでは園庭に会場を設け、テントや、机の貸し出しを行い、地域の方に参加してもらい交流を図っています。</p> <p>●子どもと地域との交流では、岡村天満宮への参拝者から園庭で遊ぶ子どもに声をかけてもらったり、挨拶を交わして地域に触れています。また、地域の文化・レクリエーション施設を利用し、横浜南公会堂を利用して子どもの発表会を実施し、散歩を兼ねて図書館を訪れる等、地域の人々と交流する機会をもっています。5歳児は、地域の最寄の小学校を訪問し、子ども同士の馴染み作りと学校生活への体験を行い、連携を図っています。</p>
<p>IV-2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<p>●園のサービス内容・保育方針などの情報提供は、園のホームページやパンフレット、磯子区の保育園広報誌、横浜市の「ヨコママはびねすぽっと」等に保育園の紹介をしています。園のホームページには、年間行事（月別に写真入り）、保育体制・沿革・園章、園歌・所在地と、園の生活情報として年齢別の目標・週間取り組み内容を掲載し、各サイト別に園のお知らせ・健康管理手帳・給食献立・生活基本ルール等々が詳細に提供しています。</p> <p>●利用希望者からの電話問い合わせ等については、常時対応できる体制を整え、園見学を案内しています。利用者の希望に添った日程調整は、園活動に支障のない範囲で曜日・時間等も希望者の都合に合わせるように努めています。</p>


<p>IV-3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●ボランティアの受け入れは、マニュアルを整備し、事前に職員や利用者に必要な考え方・方針の理解を促し、担当者を定め、ボランティアには保育内容等の理解を促し、受け入れの記録を行い、受け入れています。 ●実習生の受け入れでは、実習依頼校と連携を図り、希望に副った実習となるよう受け入れています。実習生についてはオリエンテーションを実施し、実習中は職員と意見交換できる場を設け、最終日は懇談や意見を聞き、園運営の参考にしています。
--	--

評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>V-1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●必要な人材の採用については、保育所運営に必要な人材構成、要員を把握し、必要に応じて補充を行っています。職員数は正規職員 13 名、正規外職員 18 名で計 31 名にて保育所方針に適合した必要職員数確保で運営が行われています。人材育成については、基本方針に沿い、非常勤職員を含め、子どもに向き合う職員としての姿勢に統一を図り、正規職員同様に園内研修、外部研修を通して職員の資質向上に取り組んでいます。 ●研修体制については、昇級・昇格に連動したキャリアアップ制度に沿った研修計画を策定し、研修成果について評価しています。非常勤職員の配置や業務内容については、非常勤職員と正規職員の組み合わせに配慮し、業務マニュアル、必要情報を閲覧できるように提供し、職員同様にし、必要な知識情報の提供を行っています。非常勤職員の指導は主任または事務職責任者が当たり、資質の向上を図っています。
<p>V-2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●保育士の自己評価は、キャリアアップ制度に基づいて年間の自己の目標を振り返り、園長、主任の指導、助言を得ています。業務改善については、毎月の職員会議を主体に、日々の申し送り時や夕方の話し合いで個々の気付きについて話し合い、記録に残し、業務に反映させています。 ●外部の指導では、音楽講師、体育指導員を招き、指導を受けています。指導により職員の音楽上の保育技術や、体

	<p>育の技術向上を図り、評価・助言も受けています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●保育所の自己評価については、保育士の自己評価の振り返りと保育の狙いを関連付けて検証し、子どもの育ちや意欲、取り組み過程においてを大切に捉え、次期の計画に反映させています。
<p>V-3 職員のモチベーション維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●経験能力に応じた役割期待水準を明文化し、役割分担表は年間を通して保育にあたるよう示し、また、特定の範囲を設けて権限を委譲して進めています。 ●職員は、園のサービスの質向上につながることを念頭に置き、自己の資質向上達成に向けて自己管理目標に取り組んでいます。 ●人事考課の基準として、経験・能力・習熟度（6等級）・役割、期待水準を自己評価票に明文化し、キャリアアップ制度としてみえる化を図り、年間研修計画につなげる体制を構築しています。 ●職員の業務改善や意見の聴取は職員会議時に行い、定期的に個別面談を実施し、職員の満足度、要望等を把握し、必要に応じてカウンセリングも行い、より良い職場環境作りに努め、職員のやる気につなげています。

評価領域 VI 経営管理

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●職員の守るべき法・規範・倫理等は、入職時に理念、方針と共に説明を行い、職員は守るべき倫理を遵守しています。 ●環境整備では、園は岡村天満宮との関係から園庭が天満宮境内と一体になっており、園舎周辺は梅林や様々な木々に囲まれ、園でもゴーヤ等の栽培を行い、緑のカーテンを実施する等、緑化促進を図っています。また、横浜市の3R夢（スリム）政策に沿い、ゴミの減量化・分別に取り組んでいます。園舎内には天窓を設け、採光・換気の省エネを実施しています。

VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等



●園の理念・基本方針は明文化し、入園時に保護者に周知しています。園長は、職員に職員会議等を通じて保育理念、基本方針の説明を機会あるごとに行い、職員は理解を深めています。また、理念、方針が保育に反映されるよう意識統一に努めています。

●重要な意思決定の際（園舎改築）には園長が、職員、保護者、後援会に目的、理由について十分に説明を行い、実施しています。通常時の取り組みでは、他職種での情報や意見を収集し、クラス担任と連携を図り、検討チームを設けて課題解決に取り組んでいます。

●スーパーバイズのできる主任クラスの育成は、園の人材育成計画のキャリアパスに連動させて副主任を定め、育成に努めています。岡村幼稚園では園長の補佐として事務職責任者を配置し、主任と共に補佐業務を担当し、職員一人一人の心身のケアを行い、円滑な業務が遂行できるよう配慮しています。

VI-3 効率的な運営



●園長は、事業運営面に影響のある情報に関して、園長会議等で得た経営層の意向、情報、特に事故等の情報について、職員会議で周知し、見直し・改善を図り、安定した施設運営に努めています。また、園の会計業務を担うソフト会社からも経営を始め一般保育に関する種々情報を得、重要な情報は主要な職員間で共有を図り、課題検討を行い、運営面での重要な課題については全職員に周知し、園全体で取り組んでいます。

●中・長期計画について、園長は、短期（1～3年）、中期（3～6年）、長期（6年～）の事業計画を、時流に準じた次世代運営に備えています。さらに、子どもの定員変更等を踏まえた経営・保育事業・人材育成の面から長期展望に努めています。子どもの幸せと組織の発展を踏まえ、外部機関や専門家の意見を取り入れ、より良い園運営に尽力しています。

岡村幼稚園

*観察調査日	平成30年3月15日・16日
*保育の観察	調査者2名で全クラスの視察、観察を行いました。調査1日目は2歳児と5歳児の散歩に同行し、2日目は1歳～2歳児の観察を行い、活動を通して保育士とのかわり方、園児の様子観察を行い、各年齢についての特徴を捉えて記しています。

■子どもの様子・保育の様子

<1歳～5歳児>

《朝の会》

●午前10:30分から「朝の会」を行い、園庭に1歳児～5歳児が集まって年齢別に縦2列に並び、クラス担任の指導の下、5歳児（そら組）から整い、1歳児（ひよこ）も保育士と手をつないで並んでいます。稲荷社の方を向いて整列ができました。園長先生が榊を持って子どもたちの前に立ち、全園児、保育士にお祓いを行い、子どもたちは頭を下げてお祓いを受けます。続いて園長先生の礼拝に倣って子どもたち全員で2礼2拍手1礼の参拝が行われ、拍手の打ち方も堂に入り、しっかり腕を伸ばして手を打ち、2礼の際も腰を深く曲げてのお辞儀を行う等、正しい拍手の打ち方・参拝法を習い、子どもたちの姿勢に驚かされました。お参りの締め括りでは園長先生から「今日も元気に過ごしましょう」と訓示を受け、引き続きラジオ体操が始まりました。保育士の「体操の体系に開け！」の合図と共に、一人一人がぶつかり合わないよう手を伸ばして間隔を取りながら並び、ラジオ体操の曲に合わせて全園児が大きく体を動かしながら体操を行います。手足をしっかり伸ばし、小学校へ行っても一番上手くできるのではないかと思いますくらい全行程を習得し、子どもたちの表情は清々しく、凛々しく輝いていました。3歳児（ばら組）はこの後、引き続きで戸外活動に入りました。

<2歳児・5歳児>

《散歩》

●2歳児（ひよこ組）と5歳児（ほし組）で一緒に散歩に同行しました。園庭に出て出発準備の点呼を行い、2歳児（20名）は順に大きな声で返事をして一列に並びます。5歳児（20名）が2歳児の横に並び2列縦列の体制になって手をつないで目的地に向かいます。園庭から神楽殿に沿って行くと細い坂道になり、殿を務める職員から「手を離して一列になるように」と声をかけてもらい、子どもたちは一列になりました。坂道は飛び石が敷かれており5歳児はスムーズに渡って行きますが、2歳児は歩幅が違うので一歩一

歩下を見ながら一生懸命に歩きます。中には5歳児を真似て飛び石を目いっぱい歩幅を広げて歩く子どももいて、頑張って登り切りました。道幅が広がったところでペアになって手をつないで坂を進みます。途中、2歳児の靴が脱げ、すかさず5歳児の男の子が近寄って「大丈夫？」と言って履かせてあげていました。二人は列から遅れを取り戻そうと駆け出しましたが保育士が「走らなくても大丈夫だから」の声を受け、少し遅れて列に戻り、全員が山の上にある公園に到着しました。公園では3名の保育士により点呼を行い、「何して遊ぶ～」と子どもたちに問いかけると、「鬼ごっこ！」と大きな声で元気よく返事が返ってきました。坂を登った疲れも感じられず、一斉に2歳児が逃げ出し、5歳児はゆっくり10を数えてから追いかけてきましたが、あっという間につかまってしまうました。保育士から5歳児の走り方に注文が付き、「つま先を上げた踵歩きで」と言うと、子どもたちは「無理、無理できないよ～」と返し、「じゃあ、ジャンプをしながら追いかけるのは？」で、やってみると「難しい、疲れる」と言って次々と戦線離脱が始まり、5歳児は疲れて休憩に入りました。休憩後、2歳児が並んでトンネルを作り、小さな足のトンネルの間を5歳児がくぐる遊びを始め、保育士もトンネルに加わり、上手にくぐると子どもたちから歓声が上がります。くぐる子どもも、トンネルの子どもも大喜びです。予定時間となり、人数確認をして下山し、園庭に到着すると全員縦に並んでもう一度人数確認を行い、2歳児の子どもたちは5歳児のお兄さん、お姉さんに「ありがとうございました」とお礼を言い、保育室に戻りました。さぞかし疲れたことでしょう。手を洗ってトイレを済ませ、着替えをしてから食事を始め、たくさん体を動かした後の食事はおいしく楽しくいただきました。今日は散歩を通じて年上の子どもが年下の子どもを労わり、温かい異年齢交流が行われていました。

<4歳児>

●4歳児(すみれ組)では、体操の活動を行い、保育室に体操用マットを2枚連ねて2列の設け、1列目のマットの中程に椅子の上に乗せたフラフープが一基置かれています。もう一つの列には2基のフラフープが少し離して配置されていました。1列目のマットで前方回転「でんぐりかえし」をし、前進してフラフープの所で両足を揃えて輪の中に跳んで入って続けて跳んで出ます。2列目のマットでも同様に、今度は連続片足飛びでフラフープの輪を跳んで抜ける体操を行いました。まず保育士が手本を見せ、きれいに前方回転が示され、子どもたちから拍手喝采でした。順に子どもたちが真似て行いますが、前方回転ではマットに頭を付けて首を中に入れて回転するのが難しいようで、少し後ろから弾みをつけて何度もトライします。保育士から顎を引いて胸にくっつけるよう指導を受けると次々とできるようになり、フラフープ跳びも簡単なようで難しく体力も入りますが、子どもたちは一生懸命取り組み、できた喜びや達成感味わい、生き生きとチャレンジしていました。

<5 歳児>

《卒園式の予行練習》

●今日は、もうすぐ行われる卒園式の練習を5歳児全員で行います。少し違う緊張感が感じられます。担任の保育士が保育室に椅子を並べ、子どもたちも手伝って準備が始まり、それぞれの指定された椅子に座ります。長机には仮の祭壇として柵や語弊が置かれ、担任から式次第に則って練習の手順の説明を受け、既に決められている子ども代表が玉串法典の練習を行います。園長先生も同席し、子どもが順番に名前を呼ばれ、大きな声で返事をする事、歩き方、曲がり方、祭壇の前では足を揃えて立つ指導を受けていました。また、深く腰を折って2礼を行い、2拍手もしっかり腕を伸ばして打ち、最後の1礼を行ってから玉串が保育士から手渡され、奉納を行うまでの練習や、玉串の手の添え方、「の」の字を書いて回す事を園長先生から指導を受け、席に座っている子どもたちも緊張としっかり覚えるよう真剣な眼差しが印象的です。そして子ども代表のお礼の言葉の練習を行い、卒園証書の授与を在園年数順に名前が読み上げられて一人一人に卒園証書が手渡されるまでの「心」と「形」を学び、授与された後に「今日、卒園となりました。私は大きくなったら〇〇になりたいです。」と誓いの言葉を述べて席に戻ります。お父さん・お母さん・先生方への感謝の歌の練習を行い、「思い出のアルバム」を春から秋まで合唱し、本物の卒園式に出席しているような気持ちになります。長丁場に子どもの中には持て余す子どもも何人かいる様子に、園長先生から「本番の時にはみんなのお父さん、お母さん、おじいさん、おばあさんも観えます。みんながこんなに立派になって卒園する姿を見てもらしましょう。もう少し本番までに何度か練習して頑張りましょう」と教えられ、また姿勢を正して本番に臨むことでしょう。厳かな卒園式を経験した子どもたちは将来きっと、この日を振り返り大切な思い出になるでしょう。

<1 歳～2 歳児>

《午睡》

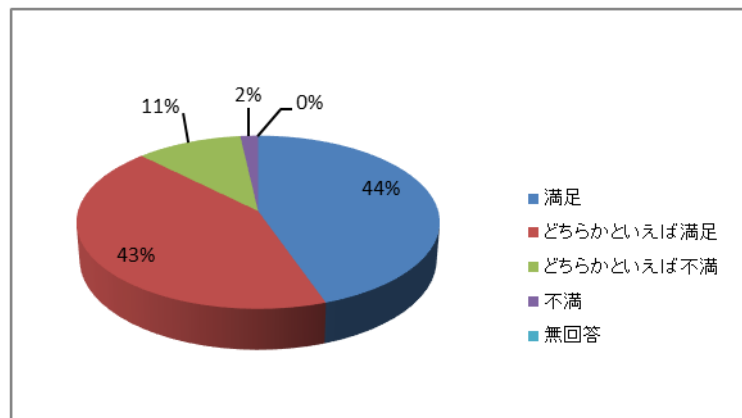
寝具はウレタン製マットで、保育室にマットを並べ、ベビー毛布を使用しています。1歳児（たまご組）クラスでは保育士3名が子どもの間に座り、眠りを見守り、眠りの浅い子どもは抱っこをして寝付かせています。全員が上を向いて手を広げ、万歳の状態で快適に眠りについていきます。2歳児（ひよこ組）クラスでは、食後、手洗いを済ませてそれぞれパジャマに着替え、上手にできる子どもや、中々着替えに時間がかかる子ども等、保育士の手伝いをもらいながら着替え、それぞれ横になり、早い子どもは布団に横になってすぐに眠りにつく子どももいました。今日は坂を登って公園で体を動かしたので十分な眠りにつけそうです。

【岡村幼稚園 利用者アンケートの特徴】

実施年度 / 評価項目手法	29年度 / 横浜市版
アンケート調査対象	利用者家族 配付世帯数（世帯数 93）
有効回答数	56 世帯
世帯総数に対する回答者割合（%）	60%

0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
—	9 世帯	13 世帯	14 世帯	14 世帯	6 世帯

*回答があった利用者満足度の内訳（%）



●利用者アンケートの特徴として、「職員の対応について」の項目が総体的に『満足』が高く、『満足』と『どちらかといえば満足』を合わせて（以下、「ほぼ満足」という）を見ると、中でも「あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるか」については、「ほぼ満足」において93%を得ています。『満足』の高い項目では、同様に「あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるか」について『満足』66%を得ており、「給食の献立内容」については68%の『満足』を示しています。また、「基本的な生活習慣の自立に向けての取り組み」については、『満足』は64%となっています。「ほぼ満足」とした高い項目では、「あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるか」と、「クラス活動や遊び」について、『満足』63%、どちらかといえば満足29%、どちらかといえば不満4%、その他5%にて「ほぼ満足」は92%を得ています。また、「施設設備」については、『満足』61%、どちらかといえば満足30%、どちらかといえば不満5%、無回答4%にて、「ほぼ満足」は91%を示しています。「あなたのお子さんが大切にされているか」については、『満足』52%、どちらかといえば満足38%、どちらかといえば不満4%、その他2%、無回答5%にて、「ほぼ満足」は90%を得ています。他の項目についても「ほぼ満足」に関して、高い評価が得られています。

●利用者アンケートの自由記述からは、「先生（保育士）たちはすごく明るく、他のクラスの先生など関係なしに仲良しなのが伝ってくる」、「先生の愛情をたくさん感じることができ、子どもがとても楽しそうです」、「園長先生をはじめ、先生方はとても良く、毎日感謝しています。」、「行事もたくさんあり、先生方の工夫も見られ楽しく参加しています」、「環境も良く、子どもの成長をしっかりと助けていただいて、大変良い園です」等、保育士の対応、子どもの成長を見てくれている保育、行事の豊かさ、園全体でまとまりのある保育が行われていると、保護者から高い評価を得ています。

●『不満』および、比較的『満足』が低い項目は、ほとんどありませんが、「保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会」についてが、『不満』18%と、中でも比較的高く、『満足』においても低い項目となっています。『満足』では11%、どちらかといえば満足27%、どちらかといえば不満14%、『不満』18%にて、「ほぼ満足」については38%という結果になっています。保護者の意見からは、「話し合いの場を設けてほしい」、「個別面談や懇談会の機会がない」等の意見も挙がっていますが、保育参観後の懇談会や、希望に応じて個別面談を実施していることを踏まえ、保護者への周知の工夫、認識への取り組みの検討、また、機会の回数等についても意向の把握に期待いたします。

●利用者アンケートの意見からは、「連絡帳のやり取りも1歳児以降も続けてほしい」、「行事前日のお迎えが早い」、「懇談会や個人面談などの機会がほしい」等、要望等が挙がっています。それぞれに関しては園から説明、周知されていると思いますが、保護者からの意見、要望等について受け止め、利用者の理解や協力につなげられるよう、日々の振り返りと見直しを図る機会を設け、園の良い点を生かしたさらなる園作りに期待しています。

●「保育園の基本理念や基本方針について」では、よく知っているが9%、まあ知っている36%、どちらともいえない18%、あまり知らない23%、まったく知らない9%、無回答5%という結果になっています。それらの賛同については、賛同できる30%、まあ賛同できる13%、どちらともいえない5%、賛同できない2%、無回答50%にて、43%が「ほぼ賛同」を示しています。保護者から、保育内容、職員の対応について満足が高く得ていることも踏まえ、さらに、全保護者が保育理念、保育方針を共有・理解につながるよう工夫に期待されます。

●総合的に、『満足』は45%の支持をいただき、『どちらかといえば満足』は43%、『どちらかといえば不満』11%、『不満』2%にて、サービスの提供について、88%「ほぼ満足」している、と捉えることができます。

利用者調査項目（アンケート）

社会福祉法人 梅の香り 岡村幼稚園

【保育園の基本理念や基本方針について】

※上段%、下段人数で示しています。

問 1

利用者調査項目		よく知って いる	まあ知っ ている	どちらとも いえない	あまり 知らない	まったく 知らない	無回答
1	あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか。	9%	36%	18%	23%	9%	5%
		5人	20人	10人	13人	5人	3人
		賛同でき る	まあ賛同 できる	どちらとも いえない	あまり賛同 できない	賛同でき ない	無回答
2	あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。	30%	13%	5%	0%	2%	50%
		17人	7人	3人	0人	1人	28人

【保育園のサービス内容について】

問 2 入園する時の状況について

		満足	どちらかと いえば満足	どちらかと いえば不満	不満	その他	無回答
3	見学の受け入れについては	39%	30%	2%	2%	27%	0%
		22人	17人	1人	1人	15人	0人
《その他意見》		・見学していない。(12) ・見学とは？ ・上の子が通園していたため、見学していない。					
4	入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	41%	45%	5%	2%	5%	2%
		23人	25人	3人	1人	3人	1人
《その他意見》		・HPの情報が古く、少し心配だった。 ・途中入園だったため、面談をしてくれた。 ・三人目だったので特には…。 ・見学していない。					

5	園の目標や方針についての説明には	27%	46%	5%	0%	18%	4%
		15人	26人	3人	0人	10人	2人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・自分が聞いたけど忘れしました。 ・覚えていない。(4) ・聞いたような気がするが、印象に残っていない。 ・説明はなかったが、特に不満もない。 ・目標、方針を知らない。(2) ・どう実行されているかは、わからない。 					
6	入園時の面接などで、お子さんの様子や育成歴などを聞く対応については	39%	20%	7%	5%	25%	4%
		22人	11人	4人	3人	14人	2人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・面接はなかった。(6) ・なかった。面接するべき。 ・覚えていない。 ・面接はしていない。(3) ・面接があったとは思っていない。 ・面接した記憶はない。上の子の通園時に先生方も顔を見ていたので。 					
7	保育園での1日の過ごし方についての説明には	34%	45%	11%	4%	5%	2%
		19人	25人	6人	2人	3人	1人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・月の予定しかないので、1日の過ごし方は連絡はない。 ・特になかったと思う。 					
8	費用やきまりに関する説明については（入園後に食い違いがなかったかを含めて）	38%	43%	11%	7%	0%	2%
		21人	24人	6人	4人	0人	1人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・後援会費を納めるのが必須だと、後で知った。 ・お金だけ徴収されて物が手元にないまま、1年以上子どもはな いまま過ぎて、親にも何も話がなかった。その後の報告も数ヶ 月かかった。 ・説明はなし。 					

問3 保育園に関する年間の計画について

		満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答
9	年間の保育や行事についての説明は	46%	41%	5%	4%	2%	2%
		26人	23人	3人	2人	1人	1人
	《その他意見》	<ul style="list-style-type: none"> ・別々の保育園を利用しているため混ざった。 ・特に言われていない。 ・平日の行事や行事に伴う休みが多く、事前説明がなかった。 ・きちんと行事をやってくれる。 					
10	年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	32%	38%	5%	9%	16%	0%
		18人	21人	3人	5人	9人	0人
	《その他意見》	<ul style="list-style-type: none"> ・不明（5） ・特に聞かれない。（2） ・平日開催のものもあって、調整に困る。 ・要望していない。 ・保護者の要望等、発言する場所なし。 					

問4 日常の保育内容について

「遊び」について

		満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答
11	クラスの活動や遊びについては (お子様が満足しているかどうか)	63%	29%	4%	0%	5%	0%
		35人	16人	2人	0人	3人	0人
	《その他意見》	<ul style="list-style-type: none"> ・どのように過ごしているのか、よくわからない。（2） ・その日の予定を知らないから、わからない。 					
12	子どもが戸外遊びを十分しているかについては	52%	30%	7%	2%	9%	0%
		29人	17人	4人	1人	5人	0人
	《その他意見》	<ul style="list-style-type: none"> ・どのように過ごしているのか、よくわからない。 ・1日のスケジュールが全くわからず子どもも話せないで、十分されているかわからない。 ・どのくらい戸外で遊んでいるのか知ることができないので、わからない。 ・毎日やっている説明等がないため、わからない。 					

13	園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてある、年齢にふさわしいかなど)	38%	36%	2%	2%	23%	0%
		21人	20人	1人	1人	13人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・教室へ入らないのでわからない。 ・どのように過ごしているのか、よくわからない。(2) ・見たことがなく、どのようなものがあるのかわからない。(4) ・わからない。(6) 					
14	自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	54%	23%	13%	4%	7%	0%
		30人	13人	7人	2人	4人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・どのように過ごしているのか、よくわからない。(2) ・見たことがなく、わからない。 ・知らない。 ・地域にかかわっている話は聞かない。 					
15	遊びを通じた友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	50%	36%	5%	0%	7%	2%
		28人	20人	3人	0人	4人	1人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・どのように過ごしているのか、よくわからない。(2) ・求めている。 ・先生と一緒に遊んだ話は聞かない。 					
16	遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	43%	41%	5%	0%	7%	4%
		24人	23人	3人	0人	4人	2人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・どのように過ごしているのか、よくわからない。(2) ・見たことがなく、わからない。 ・知らない。 ・そこまでの説目と報告はない。 					

「生活」について

		満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答
17	給食の献立内容については	68%	21%	5%	0%	2%	4%
		38人	12人	3人	0人	1人	1人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー対応があまり良くない。 ・献立内容は良いと思うが、メニューのサンプル等がないため、どのくらいの量を食べているのか知りたい。 					

18	お子さんが給食を楽しんでいるかについては	59%	30%	0%	0%	7%	4%
		33人	17人	0人	0人	4人	2人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・わからない。(3) ・好き嫌いはあるが、いろいろ食べられて助かる。 					
19	基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	64%	23%	7%	0%	2%	4%
		36人	13人	4人	0人	1人	2人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・わからない。 					
20	昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	52%	34%	2%	4%	7%	2%
		29人	19人	1人	2人	4人	1人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・どのように過ごしているのか説明がない。 ・様子がわからない。 ・見えないからわからない。 ・年中、年長は夏期以外昼寝がない。画一的にやり過ぎ。 					
21	おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	59%	21%	2%	2%	9%	7%
		33人	12人	1人	1人	5人	4人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・まだ開始していない。(4) ・不明。 					
22	お子さんの体調への気配りについては	55%	34%	4%	2%	0%	5%
		31人	19人	2人	1人	0人	3人
《その他意見》							
23	保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	50%	25%	16%	4%	2%	4%
		28人	14人	9人	2人	1人	2人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・「見ていなかった」「わからない」と言われることもある。 ・子どもより説明を受けることがある。 					

問5 保育園の快適さや安全対策については

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
24	施設設備については	61%	30%	5%	0%	0%	4%
		34人	17人	3人	0人	0人	2人
《その他意見》							

25	お子さんが落ちついて過ごせる雰囲気になっているかについては	57%	29%	4%	0%	5%	5%
		32人	16人	2人	0人	3人	3人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・見る機会がなく、わからない。(3) ・特定の暴力を振るう子どもがいる。 					
26	外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	32%	41%	16%	4%	4%	4%
		18人	23人	9人	2人	2人	2人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人が出入りし、それが子どもにプラスになれば良い。 ・神社に隣接しているため、敷地内出入り自由。 。神社だから多少はしょうがない。 					
27	感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	30%	41%	13%	7%	5%	4%
		17人	23人	7人	4人	3人	2人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・聞かないと教えてくれない。貼り紙等がない。 ・発生状況等、もう少し詳しく教えてもらえると嬉しい。 ・感染症情報を貼り出してくれる。いつ、どのクラスに発生したか明記していない。もう少し参考になる情報にしてほしい。 					

問6 園と保護者との連携・交流について

		満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答
28	保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	11%	27%	14%	18%	29%	2%
		6人	15人	8人	10人	16人	1人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・入園したばかりで、していないのでわかりません。 ・懇談会がない。(7) ・ないため、その機会を作ってほしい。 ・入園してから1度もなし。(2) ・特に懇談会はないが、適宜子どものことについては話せているので、問題ないです。 ・機会がないので、わからない。 ・特に個別面談等なし。(2) ・よくわからない。 					
29	園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	46%	29%	18%	4%	2%	2%
		26人	16人	10人	2人	1人	1人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・1日何をして過ごしているか、わからない。 					

30	園の行事の開催日や時間帯への配慮については	38%	38%	16%	5%	2%	2%
		21人	21人	9人	3人	1人	1人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・平日開催が多過ぎて負担になる。 ・平日に行事がある。 					
31	送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	34%	38%	13%	11%	4%	2%
		19人	21人	7人	6人	2人	1人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・聞かないと教えてくれない。 ・担任に会えることがほとんどない。引き継ぎもあまりされていない。 ・先生たちと引き継ぎがちゃんとされていない。 ・特定の子どもの暴力を把握しきれていない。 ・近年、きちんと情報をくださる先生が多い。 					
32	お子さんの重要な情報の連絡体制については	34%	48%	11%	4%	2%	2%
		19人	27人	6人	2人	1人	1人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳がない。 					
33	保護者からの相談事への対応には	34%	48%	11%	2%	2%	4%
		19人	27人	6人	1人	1人	2人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・保育の日程以外は、きちんと対応しようという姿勢が見られる。 					
34	開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	55%	29%	4%	0%	7%	5%
		31人	16人	2人	0人	4人	3人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・利用したことがない。(3) ・遅くなったことはないので、わからない。 ・助けてもらっている。 					

問7 職員の対応について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
35	あなたのお子さんは大切にされているかについては	52%	38%	4%	0%	2%	5%
		29人	21人	2人	0人	1人	3人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・とても大切に見ただけでいて、感謝しています。 					

36	あなたのお子さんが保育園生活を楽んでいるかについては	66%	27%	2%	2%	0%	4%
		37人	15人	1人	1人	0人	2人
《その他意見》							
37	アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	32%	23%	5%	0%	29%	11%
		18人	13人	3人	0人	16人	6人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・わかりません。(8) ・該当しないのでわからない。(5) ・そういう場面を見たことがない。 ・どのような対応なのか知らない。 ・給食の原材料が大ざっぱ。 					
38	話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	61%	21%	7%	4%	4%	4%
		34人	12人	4人	2人	2人	2人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・担任の先生と話すことはあまりない。 ・一人だけ挨拶しても無視する人がいる。 					
39	意見や要望への対応については	36%	43%	13%	2%	4%	4%
		20人	24人	7人	1人	2人	2人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> ・わからない。 ・意見は何も通らない。 					

問8 保育園の総合評価

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答
40	総合満足度は	45%	43%	11%	2%	0%
		25人	24人	6人	1人	0人
《その他意見》						

保護者アンケート調査結果（設問別「満足度」総合）

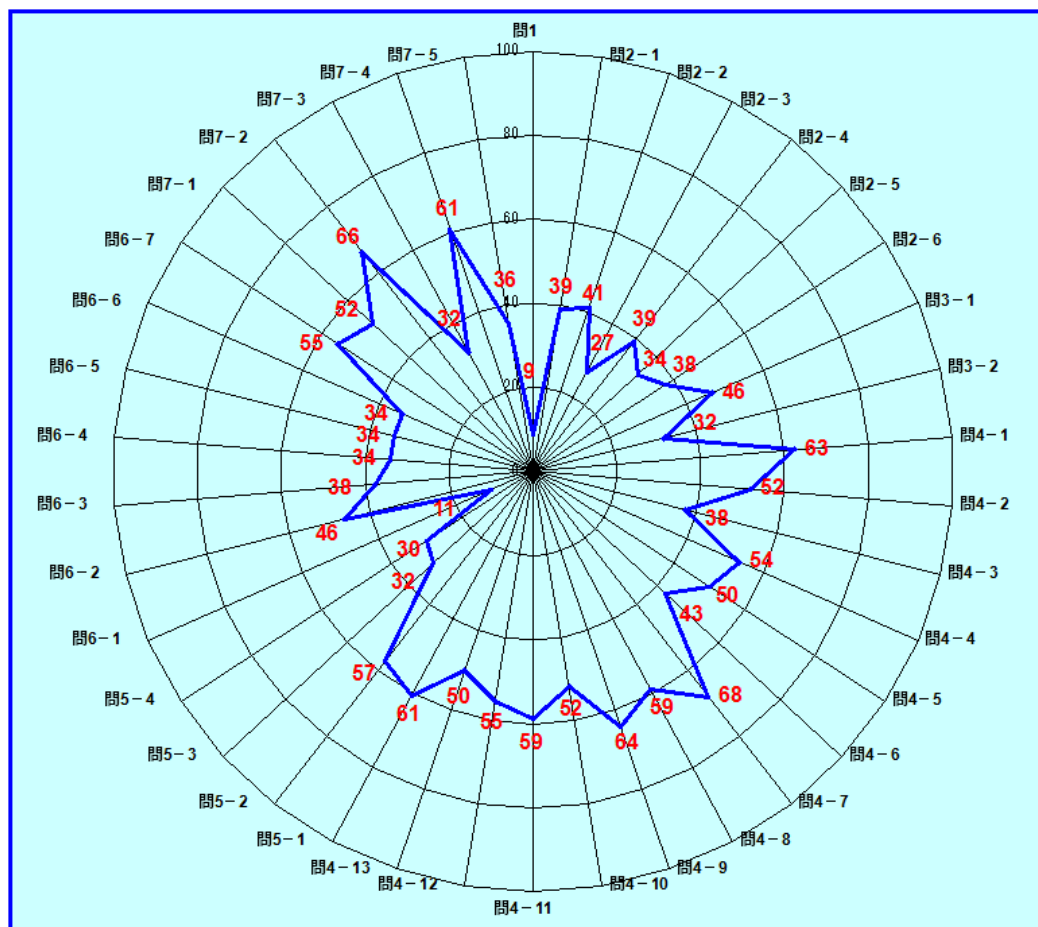
（注）レーダー数値は設問別「満足度」回答率（小数点以下は四捨五入）

調査対象園舎： 社会福祉法人 梅の香り 岡村幼児園 横浜市磯子区岡村 2-13-11

回答世帯数：93 世帯中 56 世帯 <1 歳児(9 世帯)、2 歳児(13 世帯)、3 歳児(14 世帯)、4 歳児(14 世帯)、5 歳児(6 世帯)>

定 員： 110 名

調査期間： 2017/11/15 ～ 2018/03/16



事業者コメント

岡村幼稚園

園長 杉原 紳元

<評価に取り組んだ感想>

今回初めて、第三者評価を受審するにあたり、自己評価に多くの時間がかかりましたが、常勤職員だけでなく非常勤、派遣職員まで全員が日々の保育実践や保育の目標について深く考える時間を持つことができました。

さらに、職員一人一人が感じ、考えた事柄を 2~3 人でディスカッションし、次にクラス担任ごとから主任を交えて考えを詰め、最後に園長とともに最終評価までまとめていくことによって、全職員が園のあり方について共通認識を持つことができ、大変有意義であったと思います。

<評価後取り組んだこととして>

1. 保護者アンケートで保育の様子をもっと知る機会がほしいとの要望があったので、ホームページで日々の活動を掲載し、全クラスの毎日の保育内容を中央玄関に掲示、ファイリングしていくことにした。
2. 感染症などもクラス別、人数、発症日だけでなく、流行っている感染症の特徴なども掲示するようになった。